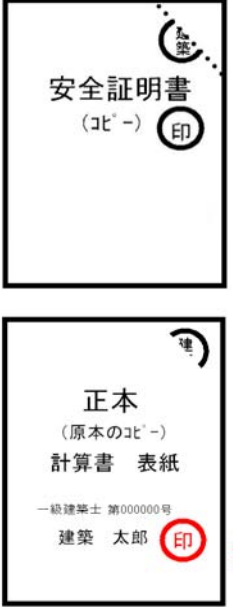
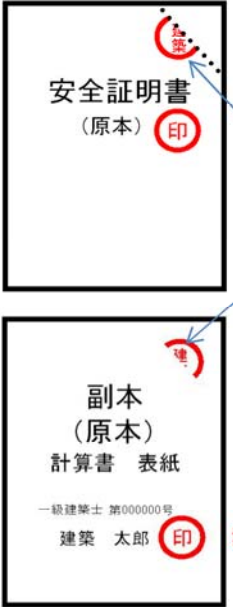
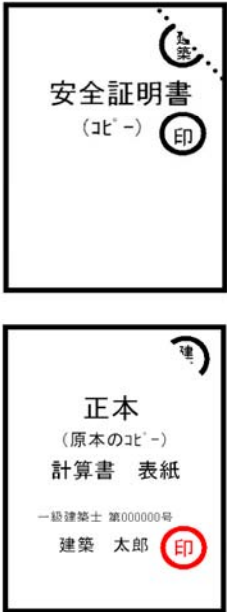
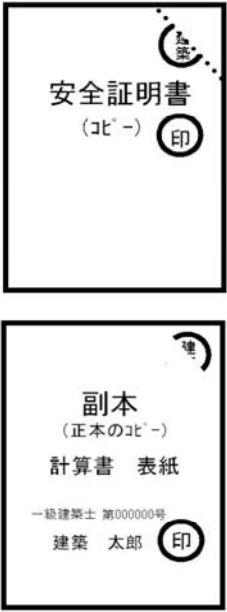
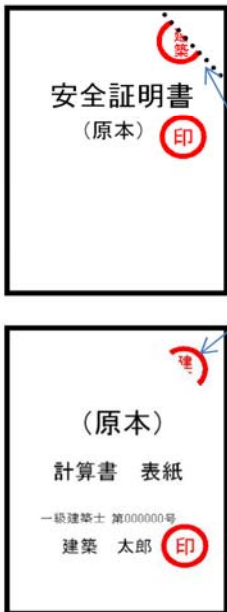


安全を確かめた旨の証明書の割印簡易図

申請図書 一式	
委託者が“建築主”の場合(意匠・構造共に同事務所の場合)	
申請図書 正本	申請図書 副本
審査機関側が最終的に保管	建築主が最終的に保管
 <p>安全証明書 (コピー) 印</p> <p>正本 (原本のコピー) 計算書 表紙</p> <p>一級建築士 第000000号 建築 太郎 印 注1</p>	 <p>安全証明書 (原本) 印</p> <p>副本 (原本) 計算書 表紙</p> <p>一級建築士 第000000号 建築 太郎 印 注1</p>
<p style="color: red;">注1 正本の計算書表紙には朱印が必要な為、原本のコピーは割印をした後に行い、注1部分の押印は正本、副本それぞれ行ってください。</p>	

申請図書 一式		
委託者が“設計事務所”の場合		
申請図書 正本	申請図書 副本	設計事務所 原本
審査機関側が最終的に保管	建築主が最終的に保管	設計事務所が保管
 <p>安全証明書 (コピー) 印</p> <p>正本 (原本のコピー) 計算書 表紙</p> <p>一級建築士 第000000号 建築 太郎 印 注2</p>	 <p>安全証明書 (コピー) 印</p> <p>副本 (正本のコピー) 計算書 表紙</p> <p>一級建築士 第000000号 建築 太郎 印</p>	 <p>安全証明書 (原本) 印</p> <p>(原本) 計算書 表紙</p> <p>一級建築士 第000000号 建築 太郎 印 注2</p>
<p style="color: red;">注2 正本の計算書表紙には朱印が必要な為、原本のコピーは割印をした後に行い、注2部分の押印は正本、原本それぞれ行ってください。又副本の注2部の押印は朱印でも正本のコピーでもどちらでも構いません。</p>		<p style="color: red;">注3 安全証明書及び構造計算書一式は法的に“15年”の保存義務があります。(設計事務所様にて)</p>